

取扱説明書

日立浅深両用ポンプ用
日立深井戸ポンプ用

深井戸ジェット

HITACHI
Inspire the Next

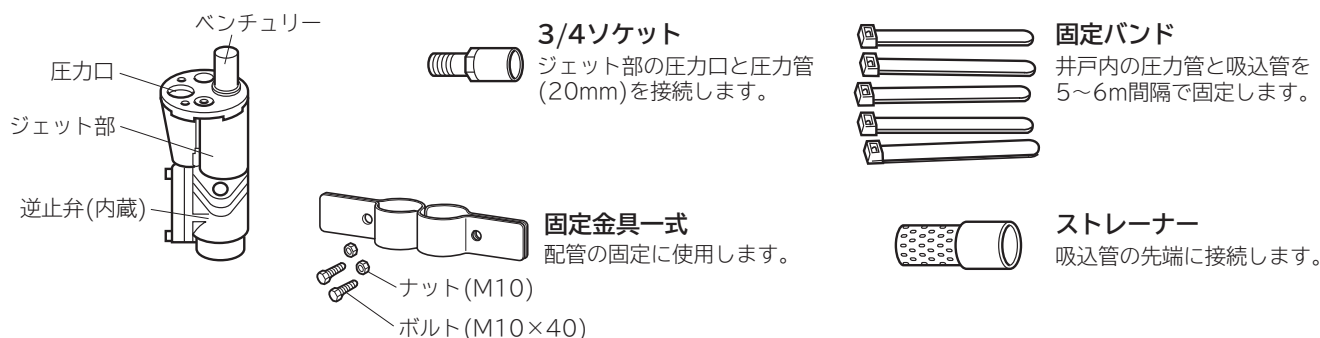
J15-12X形・J25-12X形・J40-12X形・J75-12X形・J25-24X形・J75-24X形・J75-35X形

このたびは深井戸ジェットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
お買い上げの部品は、「日立浅深両用ポンプ」「日立深井戸ポンプ」と組み合わせて使用していただくものです。

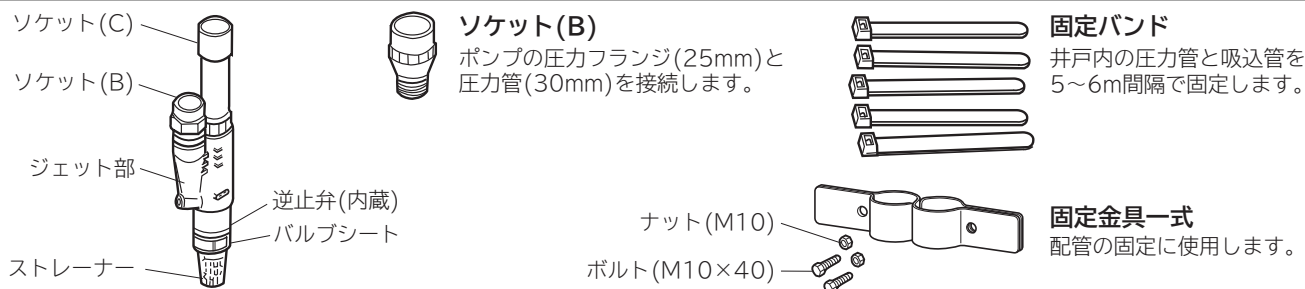
- 据え付けは専門工事が必要です。販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
- この説明書は、ポンプ本体に付属している説明書とともに大切に保存してください。

部品の名称と使いかた

J15-12X



J25-12X、J40-12X、J75-12X、J25-24X、J75-24X、J75-35X



据付工事について（販売店様・工事店様用）

据え付け前の確認

「ポンプ」と「深井戸ジェット」の組み合わせ確認

下表の組み合わせであることを確認してください。

※圧力不足や揚水量不足などを防ぐためです。

ジェット型式	ポンプ型式	吸上高さ
J15-12X	CT-P150	7m~12m
J25-12X	CT-P250、CT-K250、CM-P250	7m~12m
J40-12X	CT-P400、CT-P600(W形以前のもの)、CM-P400、C-P400	7m~12m
J75-12X	CT-K750、CT-P600(X形)、CM-P600、CM-K750、C-K750	7m~12m
J25-24X	CT-P250、CT-K250、CM-P250	12m~24m
J75-24X	CT-P400(W形以前のもの)、C-P400、DM-P400	12m~18m
	CT-P400(X形)、CT-P600、CT-K750、CM-P400、CM-P600、CM-K750X、DM-P600、DM-K750	12m~24m
J75-35X	CT-P400、CM-P400、C-P400	18m~30m
	CT-P600、CT-K750、CM-P600、CM-K750、C-K750、DM-P600、DM-K750	24m~35m

配管工事について

ジェットの型式によって施工方法が異なります。お使いのジェットの型式をご確認ください。

J15-12X

1 ジェット部の接続

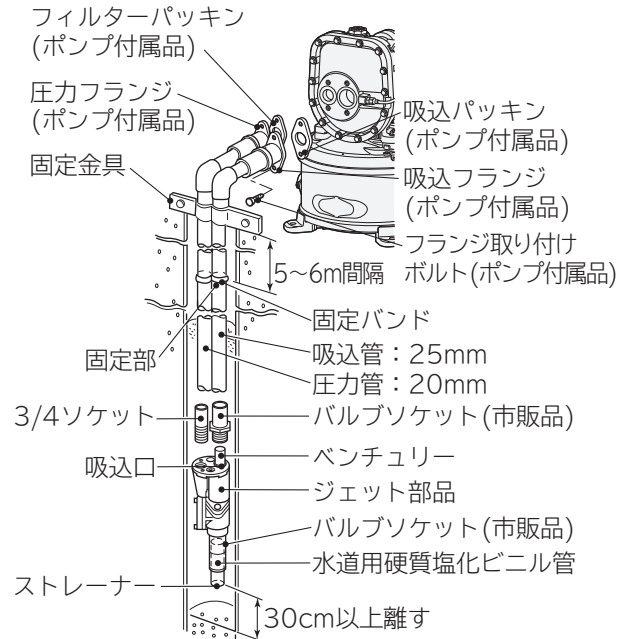
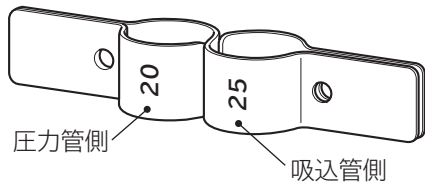
水道用硬質塩化ビニル管によって、吸込管(25mm) 圧力管(20mm)をそれぞれ配管します。
ジェットと圧力管20mmとの接続には、付属の3/4ソケットをお使いください。

2 固定金具の取り付け

ジェット部および配管質量がポンプに加わらないように吸込管、圧力管をしっかりと固定してください。
固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き水平に設置できません。

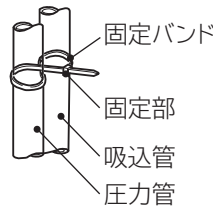
ご注意

固定金具の側面には配管口径の印字があります。「25」が吸込管側、「20」が圧力管側となるように固定金具の向きを合わせてください。
向きが合っていない場合、配管をしっかりと固定することができません。



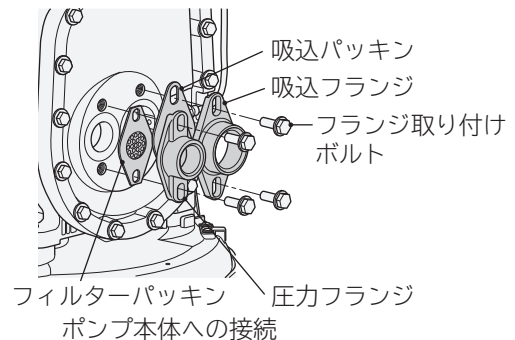
3 固定バンドの取り付け

- 井戸の中に入る吸込管と圧力管の広がりなくすため、5~6m間隔で取り付けてください。
- 固定バンドは8の字形に取り付けてください。
77mmの井戸径に施工する場合は、固定バンドの固定部が吸込管と圧力管との間に来るよう、位置を調整してください。



4 ポンプ本体への接続

ポンプ本体付属の圧力フランジ、吸込フランジ、フィルターパッキン、吸込パッキン、フランジ取り付けボルトを用いて、吸込管と圧力管を配管してください。



J25-12X、J40-12X、J75-12X、J25-24X、J75-24X、J75-35X

1 ジェット部の接続

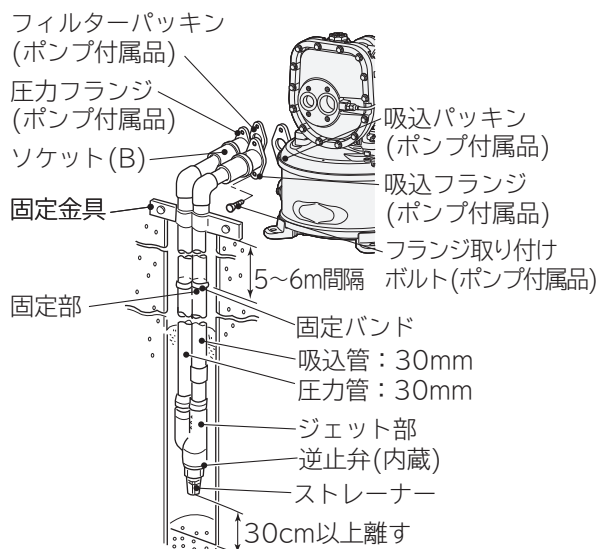
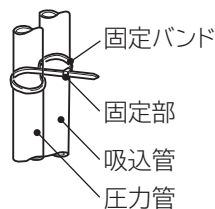
30mm水道用硬質塩化ビニル管によって配管します。

2 固定金具の取り付け

ジェット部および配管質量がポンプに加わらないように吸込管、圧力管をしっかりと固定してください。固定金具を取り付けないと、配管質量によりポンプが傾き水平に設置できません。

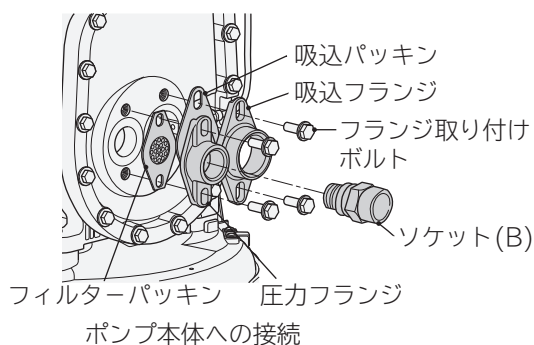
3 固定バンドの取り付け

- 井戸の中に入る吸込管と圧力管の広がりなくすため、5~6m間隔で取り付けてください。
- 固定バンドは8の字形に取り付けてください。
100mmの井戸径に施工する場合は、固定バンドの固定部が吸込管と圧力管との間に来るよう、位置を調整してください。



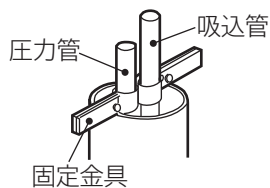
4 ポンプ本体への接続

ポンプ本体付属の圧力フランジ、吸込フランジ、フィルターパッキン、吸込パッキン、フランジ取り付けボルトとジェットに付属のソケット(B)によって、圧力管、吸込管を配管します。



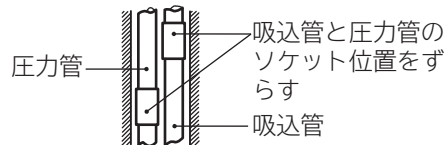
5 吸込管と圧力管の見分け

配管に4mの定尺管を用いると吸込側は圧力側より高くなります。これにより、吸込側と圧力側を判断しポンプを接続します。(逆になると揚水しません)



ご注意

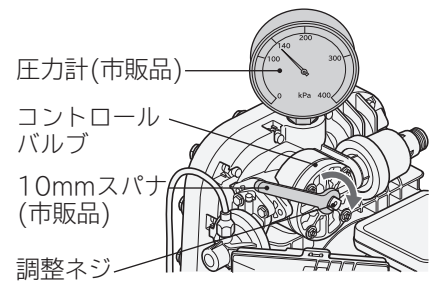
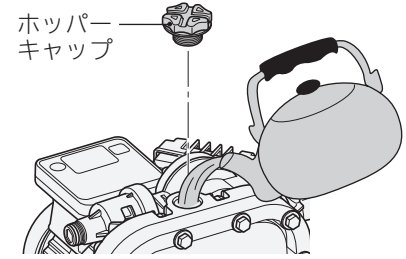
- 井戸径が100mmの場合は、井戸へ挿入可能にするため、吸込管と圧力管のソケット位置をずらしてください。
- 吸込管と圧力管は同径です。ポンプ本体の吸込口、圧力口への接続を間違わないようにご注意ください。



運転について

- 1 ホッパーキャップを外し、吸込管、圧力管、ポンプヘッド内に呼び水を十分に入れる
- 2 圧力計(市販品)を呼水口に取り付ける
- 3 コントロールバルブの調整ネジを、ネジ部が隠れる程度までねじ込む
- 4 同時に使う水栓を開く
- 5 電源プラグをコンセントに差し込む
- 6 運転開始後、揚水することを確認する
数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。
- 7 調整ネジを緩め、下表の圧力調整値を目安に、音が静かになる位置に調整する
- 8 圧力計を外し、ホッパーキャップをしっかりねじ込む

据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。モーター、コントローラー、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。



- ご注意**
- W形以前のCT-P150にコントロールバルブはありません。コントロールバルブの調整は不要です。
 - 空運転によるポンプの傷みを防ぐため、ポンプに呼び水をしない状態で運転しないでください。
 - 電源プラグをコンセントに差し込むと、ポンプは自動的に運転しますので注意してください。

■圧力調整値(目安)

ポンプ型式	ポンプのシリーズ名	
	X形(非自動ポンプを除く)	非自動ポンプとW形以前のポンプ
CT-P150	70~90kPa	調整不要
CT-P250、CT-K250、CM-P250	120~140kPa	100~120kPa
CT-P400、CM-P400、C-P400、DM-P400	180~200kPa	130~170kPa
CT-P600、CM-P600、DM-P600	200~220kPa	170~200kPa
CT-K750、CM-K750、C-K750、DM-K750	250~270kPa	230~270kPa

この製品は日本国内用です。海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

 日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12